

子ども目線の児童館へ

民生費 児童館・学童クラブ管理経費

令和5年度は、児童館の果たすべき役割、機能、専門性等について検討を進め、「児童館の今後のあり方基本方針」の素案が作成されました。方針策定に向けての市民意見聴取の取組みについての質疑があり、今年の7月に開催された「みんなで一緒に考えよう、公共施設のミライ」での市民意見の状況のほか、今後の予定として、東寺方・和田地域や貝取・豊ヶ丘地域でPTCAや学校世話人の会や、各児童館の催事と合わせて利用者である子どもと保護者に説明、意見を聞くことを計画しているとの答弁がありました。

生活保護受給者の熱中症対策について

民生費 生活保護費

熱中症を防ぐためのエアコン設置についての質疑がありました。エアコンは生活保護利用開始時に冷房器具の持ち合わせがない場合においては支給できるようになっていますが、すでに生活保護を受けている方が新たにエアコンを設置する場合には補助対象となっていないです。またエアコンがあっても電気代節約のため使用を控えている方もいます。電気代の夏季加算を検討すべきではとの指摘に対しては東京都や国へ要望していくとの答弁がありました。また窓口対応についても面接相談員や職員には丁寧な対応をしてほしいという指摘もありました。

来年度も保護譲渡補助金の継続を

衛生費 狂犬病予防・飼い主不明猫等対策経費

令和4年度から東京都の補助事業による、飼養継続困難猫対策事業及び飼い主不明猫の保護譲渡支援事業が開始され、ボランティアの経済的負担が軽減されて、譲渡が進みました。しかし、東京都からの10/10補助は今期までで、来期から1/2補助になるとのことで、保護譲渡補助金を令和7年度も継続して欲しいとの質疑がありました。

この補助制度の必要性は理解しているが、補助金の継続については現在、予算編成の中で調整中。動物の愛護や適正な飼育についての理解・啓発の活動は多摩エコ・フェスタなどで行うことも検討していく。との答弁がありました。

川の生態系を外来種から守る

衛生費 環境保全啓発事業

ペットとして飼育されていた外来種の熱帯魚が多摩川・大栗川・乞田川で放流され、生態系に影響があることが指摘されました。

現在、川の生き物調査は大栗川・乞田川で市民と観察会を開いて行っている。平成22年度以降の調査結果からは、水質の改善とともに綺麗な水でないと住みつかない魚が見られるようになってきたが、一方でアメリカザリガニなどの外来種も確認している。そのため、捕獲した外来種は市で処分し、あわせて飼育していた外来種をむやみに放流しないように啓発を行っているとの答弁がありました。

多摩市の公園とみどりを活性化しよう

土木費 公園管理経費

運動遊具に関する質疑が行われ、ただ設置するだけでなく効果的に利用する健康づくりの取組みである、「うんど教室」等についてのやり取りがありました。他に公園・緑地の管理について、既存地域とニュータウン地域それぞれの特徴をふまえた取組みの必要性が論じられました。未供用地の利活用、ナラ枯れ対策など、市の財産であるみどりに関するさまざまな議論がなされました。

また、最近起きた近隣市の倒木事故に関する質疑もあり、巡回点検の緊急実施、徹底を図るとの答弁がありました。

多摩市の災害対策について

消防費 災害対策経費

土砂災害警戒区域の周知に関する質疑があり、洪水・土砂災害ハザードマップは当初は今年度で作成する予定だったが、国で多摩川の浸水想定区域の見直しがあったため、来年度に持ち越して全戸配布したいとの答弁がありました。

また、災害時応援協定を結んだ具体的な内容と防災協力農地の協定についての質疑があり、電気自動車の車両提供やドローンを活用した支援活動、物資輸送、避難所と施設利用、充電スポット等に関する協定を各種団体と締結し、今後も必要性のあるところと締結していくとの答弁がありました。

子どもたち一人ひとりが安心して学ぶために

教育費 教育センター運営費

学校に配置されているスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーは、さまざまな問題に直面している生徒たちの問題解決を図る重要な立場であるが、雇用形態は会計年度任用職員となっています。専門職として活躍していただいているので安定した収入を得られるよう雇用形態のあり方について改善すべきではという質疑がありました。

また、ゆうかり教室に通う児童に対して給食を提供すべきではとの質疑もあり、通室してくる生徒の人数の予測が難しい事などの課題があるため、生徒や保護者の意見を聞きながら検討していくとの答弁がありました。

給食センター建替えに向けて

教育費 学校給食センター運営費

2つの給食センターはともに築40年以上が経過して、施設の老朽化や設備機器の消耗劣化が進んでいます。年間の修繕と維持補修経費、建替えに向けた取組み状況などについて質疑があり、修繕と維持補修に約4,000万円、建替えに向けては、現在、専門コンサルタントに委託して具体的な検討を行っていることなどの答弁がありました。また、給食の食べ残し問題についても質疑があり、献立の工夫など児童・生徒はもちろんのこと、食べ残しをチェックしている現場の配膳員さんの声なども聞きながら検討していくとのことでした。

